

# 香梅苑拠点中期事業計画

## I. 中期目標

### 1. 利用者サービスの充実

前年度からの外部コンサルティングによる科学的根拠に基づく「自立支援介護」を推し進め「本計画期間」において、その介護技術の定着を図ることにより本質的な人間の尊厳を重視したサービスの充実・強化を目指します。

KGI(重要最終	指標の名称	算出式	指標値
目標指数)	月平均在籍日数	年 17,885 日 ÷ 12 か月	1490 日 (稼働率 98%)

### 2. 地域社会との関係性強化

保護施設として入居者の生きがいの高揚や社会復帰に向けての自立意欲の向上のため、地域との関係の維持、継続を図ります。また、施設が持つ専門的知識や技術などを活かすため、地域住民、ボランティア、学校、行政、医療及び福祉関係者との連携を強化し、災害時などにおける要支援者の支援ネットワークづくり等、地域に貢献できる施設を目指します。

KGI(重要最終目	指標の名称	算出式	指標値
標指数)	町内住民などの施設受	100 人 ÷ 12 × 3	四半期 25 人

	け入れ数		
	施設外活動住民など参加人数	100人÷12×3	四半期 25人

### 3.生産性の向上

介護ロボット、ICTの活用を検討しつつ、専門職としての知識及び技術の向上により、業務遂行能力を高めていきます。また、今後、職員体制を整え、加算取得による収入増を図ります。

	指標の名称	算出式	指標値
KGI(重要最終目標 指数)	人時生産性	167,200千円÷51,480時間	3.25千円
	労働生産性	167,200千円÷27人	6,193千円

算出式：人時生産性 = 付加価値額 ÷ 総所定労働時間

総所定労働時間 = 所定労働日数（238日）× 8H × 総職員数（常勤換算数）

労働生産性 = 付加価値額 ÷ 総職員数（常勤換算数）

## II. 中期計画

### 1. サービス計画

保護施設機能と介護施設機能の両機能を発揮するため、「自立」をメインとして、以下のサービスの充実・強化に取り組みます。

- ① 自立支援・重度化の取り組みの推進

②ご本人の望む生活に寄り添う個別ケアの推進

上記のサービスでの成果指標は以下のとおり。

KPI	1年目	2年目	3年目	KPIの内容
入院者数（1か月以上）	年間5名以内	同左	同左	自立支援の取り組みにより年間の入院者数を減少させる。
入院日数	年間200日以内	同左	同左	自立支援の取り組みにより年間の入院者数を減少させる。
事故発生件数	年間5件以内	同左	同左	ひやりはっと件数を増やし、入院に至る事故を未然に防ぐ。
苦情、要望件数	50件以上	同左	同左	入居者からの苦情・要望を幅広く吸い上げる。
行事・レクリエーション（クラブ活動）参加率	75%	同左	同左	月平均参加の増加に取り組み、自立を促していく。

## 2.収益計画

収益計画については以下のとおりとします。

(単位：百万円)

	2021 年度	2022 年度	2023 年度

サービス活動収益	190	190	190
サービス活動費用	153	155	156
人件費	97	99	100
事業費	32	32	32
事務費	11	11	11
利用者負担軽減額	0	0	0
減価償却費	28	28	28
国庫補助金等特別積立金取崩額	15	15	15
サービス活動増減差額	37	35	34
経常増減差額	37	35	34

・計画サービス活動収益は稼働率 98% で計画しています。

・計画付加価値額 167.2 百万円

・計画労働分配率 2021 年度 58.0%

2022 年度 59.2%

2023 年度 59.8%

・計画人件費率 2021 年度 51.1%

2022 年度 52.1%

2023 年度 52.6%

### 3.人員計画（常勤換算数）

人員計画については以下のとおりとします。

（単位：人）

職 種	2021 年度			2022 年度			2023 年度		
	正規	非正規	計	正規	非正規	計	正規	非正規	計
施設長	1.0		1.0	1.0		1.0	1.0		1.0
課長									
生活相談員	2.0		2.0	2.0		2.0	2.0		2.0
看護職	3.0	0.2	3.2	3.0	0.2	3.2	3.0	0.2	3.2
介護職	4.0	9.35	13.35	4.0	9.35	13.35	4.0	9.35	13.35
リハビリ職									
(管理) 栄養士		1.0	1.0		1.0	1.0	1.0		1.0
調理師	3.0	1.65	4.65	3.0	1.65	4.65	3.0	1.65	4.65
事務員	1.0		1.0	1.0		1.0	1.0		1.0
環境整備員		0.8	0.8		0.8	0.8		0.8	0.8
計	14.0	13.0	27.0	14.0	13.0	27.0	14.0	13.0	27.0

・人員計画は法人の事業所別人員計画数をベースとしています。

\* 養護老人ホームと特定施設との合算人員。

介護職員数（非正規）には、外国人技能実習生 1 名を含む。

#### 4.生産性向上計画

##### (1) 稼働率向上計画

	2021 年度	2022 年度	2023 年度
定員数	50 人	50 人	50 人
利用率	98%	98%	98%

##### (2) 新加算取得計画

取得加算（実績）	取得加算（計画）
医療機関連携加算	医療機関連携加算（既存）
サービス体制提供強化加算Ⅲ	サービス体制提供強化加算Ⅲ（既存）
処遇改善加算Ⅰ	処遇改善加算Ⅰ（既存）
特定処遇改善加算Ⅰ	特定処遇改善加算Ⅰ（既存）
措置費、管理費加算	措置費、管理費加算（既存）
	退院・退所時連携加算（新規）
	口腔・栄養スクリーニング加算（新規）
	夜間看護体制加算（新規）
	科学的介護推進加算Ⅱ（新規）
	ADL 維持等加算（新規）

	認知症専門ケア加算（新規）
	若年性認知症入居者受入加算（新規）

### （3）業務見直し計画

業務見直し計画	期待される成果
介護ソフト付属機器導入（血圧計、SPO2）  （2021 年度実施）	記録時間の手間を省き、業務の効率化が図られる。
自動シフト表作成ソフト導入  （2022 年度実施）	作成時間の短縮により、本来の業務に時間を充てることができる。
見守り機器導入  （2022 年度実施）	職員の移動時間の短縮と安全性の確保。
掃除ロボット（レンタル）  （2021 年度実施）	食堂や交流ホールなど広いスペースに活用し、本来の業務に時間を充てることができる。
多職種連携による業務分担  （2021 年度実施）	協力体制により、最低限の職員数で業務にあたり、生産性を維持する。

## 5.地域との関係強化計画

取り組み事項	具体的内容
ボランティア、地域交流事業の受け入れ強化	学校、福祉施設、公民館サークル、ボランティアセンターなどへ依頼し、見学、実習、交流会などを実施
施設、備品の有効活用	サークルの発表の機会に使用していただく。 音楽機材、レクリエーション道具などの貸し出し
公益事業の推進	介護者家族の会、運動教室、認知症教室などの活動地域を拡大する。
災害時などの協力支援体制づくり	自治会、役場などとの協議

## 6.積立計画

3カ年の積立額は以下の通りとします。

(単位：千円)

積立額	2021年度	2022年度	2023年度
再建設	22,810	22,810	22,810
大規模修繕	0	0	0
その他	5,190	5,190	5,190
計	28,000	28,000	28,000

## 7. 感染症・災害への対応力強化計画

感染症・災害への対応力を強化するため、BCP に基づくシミュレーションや訓練を実施します。

以上